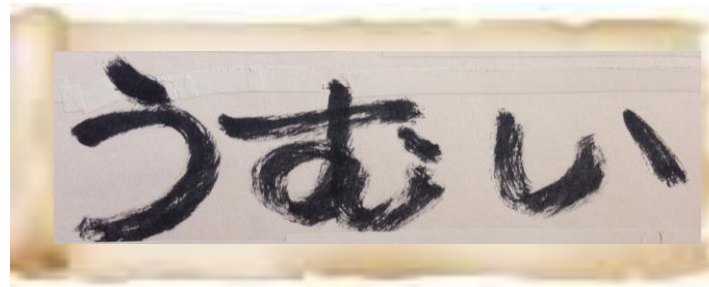


第57号

令和2年7月1日発行



発行  
うむい合同会社

〒904-2164  
沖縄市桃原2-16-37  
電話:098-988-5598

おとなの寺小屋  
うむいぬうふやー

〒904-2164  
沖縄市桃原2-16-37  
☎ 098-988-5598  
FAX 098-988-5600



あしあと

利用者ものがたり。  
渡真利トヨさん編

## 「笑顔の裏側」

(幼少期編)



照子さんちのバナナ

「うーみーのーあーおーさーに〜、そーらーのーあーお〜♪」  
むーとうやーの玄関をあける前から、元気な歌声が響いてきます。  
その元気な声の持ち主は、音楽村の新しい住人の渡真利トヨさんです。  
今回のあしあとは、いつも元気にうたい、職員にいろんなことを教えてくれる、トヨさん取材したいと思います。

トヨさんは、宮古島にて、4人兄弟の長女として生まれました。  
母：カメさんに育ててもらいました。お父さんのことをたずねると「私が物心ついたときにはいなかったから、まったくおぼえていない」とトヨさん。  
「お母さんは私たちが女手ひとつで育ててくれました、尊敬しています」  
「貧乏だったけどさ、わたしには兄弟もいたから寂しくなかったよ〜」  
幼いころから母と兄たちと共に畑仕事をしてきました。  
「あのころはさ〜、小学校に行ってもはいたけど、勉強する時間もなかったし、家計を助けるため、みんなで仕事をするしかなかった。兄さんたちだけにまかせるわけにはいかないさあねえ〜」苦労しながら助け合ってきた渡真利家。

ある日、上空に大きな飛行機が飛び回ります。  
遠くから、『ドカンッ！ドカンッ！』と、爆発音や悲鳴が聞こえてきました。  
今でも忘れられない空襲。「それぞれの家庭や部落で壕をつくっていたけど爆弾であつという間にこわれて、逃げ場がなくなっていた」「必死に逃げ回ったよ！」

「長男は軍の衛生兵だったから、とても苦しい思いしたはずよ」  
「生きたかったはずだけど、戦争に殺された」  
「あの頃は日本国のために戦っていたんだから、悲しいというよりも尊敬しているよ」とつらく悲しい過去を思い出して話してくれました。  
「あなたたちは、平和な時代にうまれてよかったね〜。だから、人とケンカしたらダメよ〜！人が悲しむようなこととしてはいけないよ！」とにっこり。

僕は、トヨさんのチャーミングな笑顔の裏にかくされた強さを感じました。

トヨさんのあしあと、次号につづく…。

文：佐和田裕也



いつも、にこにこ



真剣に歌っています。



生け花が完成してニッコリ。

あんない  
かんない

## カーサに油を塗る？ 塗らない？

うむいぬうふやーのカレンダーには、毎月一回、「カーサムーチーの日」があります。6月は、13日が「うふやーカーサムーチーの日」でした。  
みなさんのおうちは、年に一回ですか？ たまに食べたくなりませんか？ 食べたくなったら、ご連絡ください。うふやーには大きなサイズのカーサが植えられています。ムーチー職人さんも10名以上、在籍しています。とびきりおいしいカーサムーチーをごちそういたします。  
ところで、あなたはカーサに油を塗りますか？うふやーでも塗る派と塗らない派に分かれています。今回は両方のタイプをつくってみました。  
結果は……油を塗らなくても、ムーチーはきれいにはがれました。めでたし、めでたし。



役割分担してスピードアップ！



こうやって、塗るわけよ。



私は調理学校いったよ。



はい、次もってきて。

## 「気力」+「体力」＝うふやーパワー全開！

「体力測定」は本来、人と争うものではありません。いま現在の握力はどれくらいか、筋力は維持されているかなど、あくまでも一人ひとりの体力を測定するものです。  
しかし、うむいぬうふやーの利用者さんは、ほかの人に張り合って勝ちたい！と思う競争心にあふれています。

6月19日におこなった体力測定では、「わたしはもっと速くできる！」「おれは、みんなより遠くに投げろぞ！」と、全員ががんばりました。  
体力そのものも、もちろん重要ですが、競争心や闘争心も重要です。この日は、「体操」をしてからだをほぐし、「体力測定」で気力を高め、そのあとの「運動会」で思う存分、からだを動かしました。



いくぞー!!



おやつときは、みんな味方。



青チーム、勝利の舞。